

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年7月16日

施設名	高知県立室戸岬夕陽ヶ丘キャンプ場	所管課名	環境共生課
-----	------------------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	室戸市	指定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
施設所在地	室戸市室戸岬町大字東大谷（室戸阿南海岸国定公園内）		
事業内容	1 植栽の維持管理 2 キャンプ場の施設、設備の維持管理及び清掃等 3 キャンプ場内の行為の許可に関する業務 4 テントサイトの利用に関する業務 ① 利用の許可等 ② 窓口業務（予約及び申請の受付、利用料の收受等） 5 その他キャンプ場全般に係る業務（キャンプ場の利用促進等）		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など <施設・設備等> 1 テントサイト①オートサイト（AC電源付き）4区画 ②フリーサイト 20区画 2 炊事棟、トイレ・シャワー棟 3 芝生広場 2,053㎡ 4 駐車場 <利用時間> 1 宿泊利用：午後3時から翌日の午後1時まで（連続して宿泊利用をする場合もできる） 2 一時利用（デイキャンプ）：午前10時から午後4時まで <開園日> 1月1日から12月31日 <休園日> なし <利用料金> 平成19年8月1日から 1 宿泊利用 1区画：オートサイト 2,000円、フリーサイト 1,000円 2 一時利用（デイキャンプ） 1区画：オートサイト1,000円、フリーサイト500円 3 レンタル用品 テント：1,000円、テントマット：100円、ターフ：500円、寝袋：500円、毛布：300円 ツーパーナーガスコンロ：500円、バーベキューレンジ：300円、テーブル：400円 椅子：200円、鍋フライパンセット：300円、包丁まな板セット：100円、飯ごう：100円 クレーボックス：200円、ランタン（大）：500円、ランタン（小）：500円 室内用ランタン：200円、アルミポータブルベット：200円、パラソル：300円 <利用料金の徴収場所> キャンプ場 <利用申込先> 室戸市観光深層水課 または 室戸市観光協会		
職員体制	常勤職員：7人 非常勤職員：1人 合計：8人		

2 収支の状況

単位：千円

		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
収入	県支出金	0	0	0
	使用料	398	603	210
	その他	0	0	0
	収入計 (a)	398	603	210
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	218	269	210
	人件費	785	762	0
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	1,003	1031	210

3 利用状況

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	549	831	1,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 利用者からアンケート用紙、インターネット等による苦情、要望はなかった。		

4 平成21年度業務評価

項 目	評価できる取組等	改善すべき課題
①適正な管理運営の確保	・清掃が行き届いており、草刈も適切に行われている。施設内は美しい環境が保たれていて、良好に管理されている。	
②利用者サービスの維持向上	・苦情がほとんどなく、こまめな清掃で施設をきれいに管理していることが、利用者サービスの向上につながっている。 ・県外客に対するPRは、キャンプ場の周辺施設と一体となって取り組んでいる。	・ホームページ上で予約を取れるようにするなど、インターネットをもっと積極的に活用するべきである。 ・さらなる積極的なPR活動と、ジオパーク等、室戸市内の各施設との連携を要望する。 ・冬期期間中の利用拡大が課題である。
③利用実績	・19年度、20年度、21年度と利用者が増加している。	・県内客、特に小学校や大学などの団体へ利用の働きかけをすることにより、さらに利用者を増加させる余地がある。
④収支の状況	・キャンプ場利用者の増加によって室戸市全体に与える経済波及効果は高い。	・収支が赤字になっているので、利用者増により収入を増やし、収支の改善を図ること。
総合評価	<p>良好な維持管理がされている。利用者も順調に増加しており、施設利用者からの苦情等も特にない点は、適切な管理運営であると評価できる。</p> <p>高知県のなかでは良好なキャンプ場であることができ、今後も県内外から注目されるようなキャンプ場になるよう、努力してほしい。</p> <p>ジオパーク等の他の観光スポットと連携させたPRを、さらに充実させること。</p>	
	A	